

## 株式会社TOKAIケーブルネットワーク

### 2025年度番組審議会 議事録

開催日時： 2025年12月22日（月） 11時00分～13時00分

場所： グランディエールブuketーカイ 4階 ワルツ

出席者：

〈審議委員〉 審議委員7名中7名出席

大坪 壇 審議会会長（静岡産業大学総合研究所 所長）

曾根原 容子 審議会副会長

渡邊 英正 委員

勝間田 誠 委員

青木 洋一 委員

古谷 光子 委員

井上 幸代 委員

〈TOKAI ケーブルネットワーク〉

代表取締役社長 岩本 光司

代表取締役専務 近藤 雄二

コンテンツ・メディア企画部部長 望月 隆宏

コンテンツ・メディア企画部広報企画課課長 川口 直紀

放送制作部部長 澤井 宏幸

放送制作部東部制作二課課長 愛徳 聡

放送制作部中部制作二課課長 白井 功介

事務局 コンテンツ・メディア企画部編成企画一課課長 征矢 秀樹

コンテンツ・メディア企画部編成企画一課 鈴木 千春

議事： 番組審議①「トコチャンニュース」

番組審議②「いけや賢二のイケいけファーム！」

## ◆審議番組①「トコチャンニュース」

### 【審議番組概要説明】

「トコチャンニュース」は、これまで正午から 60 分間生放送されていた「トコチャンワイド」をリニューアルし、今年度から夕方 4 時から 30 分間の生放送番組としてスタートした地域密着のニュース番組。放送は月曜日から金曜日まで各支店エリアごとに分けられており、地域ごとの特色に特化した情報を届けている。番組は明るい地域の話や防災情報、地域祭りなどポジティブなニュースに重点を置いていることが特徴。ニュースの本数は従来から大幅に増加し、情報量を充実させている。独自の構成として、複数のコーナーを設け、週ごとにイベント告知や地域スポーツの紹介、支店営業員による地域情報の発信、祭りなどの特集を多角的に展開している。「トコチャンセレクト」は、「トコチャンニュース」で今年度から新たに始まったコーナーである。各支店の営業員が出演し、自身の趣味やおすすめの店舗、食べ物などを紹介することで、スタッフとは異なる視点から地域の魅力を伝えている。

### 【委員からの主な意見】

- ・ トコチャンワイドからトコチャンニュースにリニューアルされ、ニュースの本数が非常に増えたことに驚きました。
- ・ やはり地域のお祭りをはじめとしたさまざまな情報を取り上げていると、皆さんが地元のことを知りたいときに、まずはケーブルテレビをつけてみようと思うようになるのではないかと思います。
- ・ 地域密着の観点でも、選挙を含めた速報性の高い情報をもっとリアルタイムに届けることが望ましいと感じました。災害情報なども含め、いつでもパッとチャンネルをつけたらすぐに必要な情報が出ると良いと思います。
- ・ 「トコチャンセレクト」コーナーは出演者の発声が小さく、聞き取りにくい点がありました。せっかく地域をご紹介されるのですから、発声や聞き取りやすさに工夫していただけると良いと思います。
- ・ 支店担当者を番組に出演させることで、視聴者の方が親近感を持ちやすくなっていると思います。クオリティ的にもどんどん良くなっているなと思います。
- ・ 皆さんとても上手に話されていました。MC が生放送の際にニュースの話題について話していましたが、とてもきれいに進行できていたので、ワイプで映像を入れた方が良かったのではないかと思います。
- ・ テンポが非常に良く、テロップの使い方や番組の流れがとてもよかったです。
- ・ 「トコチャンワイド」から「トコチャンニュース」へとリニューアルされ、と

でも見やすくなり、情報も得やすくなっています。非常に進化していると感じており、素晴らしいと思っています。

- ・ 「トコセレ」コーナーは、紹介される店舗や話題だけでなく、支店担当者の普段の仕事や人柄に焦点を当てて深掘りする形にすると、より面白くなるのではないかと思います。
- ・ トコチャンニュースのMCは話がとても聞きやすく、非常にブラッシュアップされていて素晴らしいと思っています。
- ・ トコチャンニュースのMCの服装の色使いなど、映像映りに関する工夫も今後加えると、さらに良くなると思います。
- ・ さまざまな取り組みが地域に密着しており、地域の皆さんが何を必要としているかをよく考えて作られていることが伝わってきました。

#### ◆審議番組②「いけや賢二のイケいけファーム！」

##### 【審議番組概要説明】

「いけや賢二のイケいけファーム！」は地域連携をテーマにした農業番組。地域の食と農業を軸に、番組制作そのものを地域づくりの一環と位置づけている。農業における価格低迷や後継者不足、収益化の課題など多様な社会問題を取り上げつつ、農産物の六次産業化による付加価値創出やブランド化に挑戦している。具体的には、小山町の「金太郎米」というブランド米の開発や、ねぎの加工販売、金太郎米を使った甘酒ヨーグルトの開発など、地域産品の販路拡大に取り組む。また、地域教育支援として、学校と連携した未来づくりを目指している。制作コストを抑えつつも、地域活動として高く評価され、日本ケーブルテレビ連盟の番組アワードを受賞した。視聴者に地域のリアルな課題と取り組みを伝える一方、バラエティ要素も盛り込み親しみやすい構成となっている。

##### 【委員からの主な意見】

- ・ この番組は農業に特化して制作していますが、同じような形で農業以外の分野にも取り組むことができれば、その地域の魅力や特色を広くアピールできると思います。そうした情報が発信されることで、さらに多くの人に関心を持って番組を視聴してくれるのではないかと思います。
- ・ とても面白く、「ああ、こういうものがあるのだ」という発見がありました。それぞれの地域にはやはり悩みがあり、また地域としてこれを打ち出したいという思いもあるのだと感じました。農業だけでなく、その地域それぞれのさま

ざまな特色や資源を活かして発信していけたら、さらに良くなるのではないかと思います。これはとても良い企画だと感じました。

- ・ 非常に見やすいと感じました。なぜ見やすいのかというと、テンポが良いことと、視聴中にテロップが表示されることが理由だと思います。テロップと音声の両方があることが、見やすさの大きな要因の一つだと思います。
- ・ 非常に身近な人たちが登場し、テンポの良い内容になっているため、やはり魅力があって良いのではないかと思います。
- ・ 田んぼを借りてネギを作り販売していますが、農業は一過性で終わるものではなく、継続が不可欠なため、番組としては面白いが、その地元の中の人を絡めて、それがちゃんとしたブランドとして地域の宝になるようなものになればいいと思いました。
- ・ 地域の問題は地域で解決しなければなりません。ケーブルテレビでこのような番組を放送していただくことは、とても良いことだと思います。こうしたことは多くの皆さんの関心が高いので、さまざまなアイデアを発信し続けたり、情報を提供したりすることが、地域密着型のテレビの役割だと考えています。
- ・ 番組で情報を提供し、成功例を紹介することで、皆さんにひらめきが生まれ、このような番組を通じて新たな発想が生まれてくると思います。そうした事例がたくさん取り上げられることが大切だと思います。農業の問題も、そのようにしてうまくいけば、他の地域でも同様の取り組みを発信する機会となります。その点に興味を持って視聴しましたが、この番組は楽しく、面白かったです。
- ・ 今後の展開も含めて、トータルで考えていくことができれば、さらに良い番組になるのではないかと考えています。
- ・ この番組に限らず、映像のクオリティはすごく高くなったなと思います。
- ・ これからのシニアライフを考える、50歳代くらいの方々をうまくターゲットにした番組作りができていると思います。
- ・ 農業を少し始めてみたいと思うきっかけになるような番組でした。また、他にも販売できるコンテンツだと思いました。
- ・ この番組はとても面白く、時々トコチャンで見えています。過去の放送では、高校生と一緒に製品開発を行い、高校生が人参の栽培に取り組む様子なども拝見しました。高校生を絡ませることで、非常に興味深く感じました。
- ・ 先ほどのご意見の中で、この番組の今後の方向性や目指すところについて触れられていたかと思いますが、私は高校生と一緒に活動しながら広げていくことも面白いのではないかと考えながら拝見していました。
- ・ とても良かったと思いました。こうした番組があるなら、次はまた新たなテー

マに焦点を当てて制作してもらえたらと思います。各地域にはそれぞれのニーズがあると思います。また、こうした取り組みをシリーズ化して継続的に紹介していくのも面白いと思いました。さらに、起承転結の構成で、過程を共に体験しているような気持ちになれる、そうした番組もとても魅力的だと思いました。

- ・ とても面白い番組で、30分の放送時間があっという間に感じられました。